


## 2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 兵庫県立赤穂高等学校 ] 担当教諭名 [ 森戸 隆文 ] ( 3年1・2・4・5組 8名 )  
 相手国・地域 [ トンガ ]  
 海外学校名 [ Tonga High School ] 担当教諭名 [ 新井 雪那(JICA) ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	情報 (情報の表現と管理)	第1章 情報活用とメディア コミュニケーションの基礎	5
	情報 (情報の表現と管理)	第2章 情報の表現 文書による表現・動画像による表現・プレゼン テーション・ネットワークを利用した情報発信	20
	情報 (情報の表現と管理)	第3章 情報の管理 コンピュータによる情報の管理と活用	5
	課外活動	想いを壁面に表現	10

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	LIFE BELOW WATER
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	トンガも日本も島国であり、水と我々の生活が密接に関わっていることを実感している。そこで、水に関する問題である「水不足、海洋汚染、水害」などを調べ、「自分たちにできることは何か」を絵で表現し、世界に伝えたい。
	

### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
SDGs14を通して学び、日本とトンガの課題に共通する部分を見出せ、離れた国でも海に対する思いが同じことに気づくことができた。	非同期型の協働学習がメインであった。今後は同期型協働学習ができるよう、google for educationなどを活用し、学習環境を改善していきたい。

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒に海外との協働学習が意外と簡単であると実感してもらえ、海外との距離が縮まった。</li> <li>新しい取組に対して不安があったが、この取組を終えて、新しいことに挑戦する楽しさを知ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsを指導することで、世界が抱える課題、そして「誰一人取り残さない」というメッセージにより日本の課題に改めて気づけた。そこから、生徒が主体的に学べるアクティビティを考えたり、普段の授業にもSDGsを取り入れたりするようになった。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介ビデオ作製</li> <li>Skypeで自己紹介</li> <li>赤穂の魅力を調査し、それを日本語・英語、それぞれでまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の魅力の再確認ができ、赤穂の良さに気づいた。</li> <li>アートマイルのを知り、自らアートマイルについて調べ始めた。</li> </ul>	情報 5
共有 テーマ学習	6月 7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤穂市の魅力に関して、フォーラムを通じて、発信した。</li> <li>トンガの文化に関して、フォーラムを通じて理解した。</li> <li>Skypeで共にSDGsを学んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい出会い、発見により、積極的に参加する姿勢が見られた。</li> <li>身近な自分事とSDGsを関連して考えられるようになった。</li> </ul>	情報 10
融合 メッセージ作成	9月 10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>壁画のテーマ「水」を考えた。</li> <li>「水」に関して詳しく調べた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>トンガの文化を自主的に調べるようになった。</li> <li>自分たちの生活と水について、考えるようになった。</li> </ul>	情報 10
創造 壁画制作	11月 ～ 2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>壁画を描いた。</li> <li>「水」をテーマに構図について、フォーラムを活用して話し合った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの役割が明確になり、普段リーダーシップを発揮しない生徒が、チームで活躍する場面が増えていった。</li> </ul>	課外活動 10
評価 振り返り 自己評価	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が今までの活動を振り返り、感想を書いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>トンガの生徒とたくさん意見交換したという意欲が芽生えたと同時に、自分たちの言葉の表現力が足りないことに気づくことができた。</li> </ul>	情報 5

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	5	この取り組みで、今までは赤穂の魅力を知っているつもりだったことに気づいた。より一層赤穂の魅力を理解することができた。
異文化を理解する力	5	お互い島国という共通点がわかり、SDGs14を通して、海に対する同じ考えを持つ仲間だと気づき、相手を理解しようという意識が芽生えた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	赤穂の魅力をまとめる時、相手の情報をもとに、相手をイメージしてどんな情報が良いか判断しながら、情報をまとめることができた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	3	英語以外に日本語の会話もできたが、自分の気持ちを表現するとき、どう表現すべきかわからず、表現力の少なさに気づき、努力していた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	授業を進めていくうちに、教師の意見に対しても鵜呑みにせず、自分で考え調べる機会が多くなってきた。
主体的に考え行動する力	4	自分たちで進んで進める中、それぞれが自分たちで役割を決めていき、チームで活躍する場面が増えていった。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	Skypeのビデオ会議を使い、共にSDGsの考えを発表・議論することで、お互いのSDGsに対する考えを学ぶことができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	「水」への想いが最後まで変わらず、絵で表現できたのは、共感し合えるコミュニケーションがしっかりできたからだと思う。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	5	他者評価では、相手の良い部分を探し、褒める姿勢が見られた。なれ合いではなく、褒めてお互いの自尊心を高め合う姿勢が評価できた。